

杉並区立西田小学校 令和4年度第4回 学校運営協議会記録

- 日時 令和4年7月25日(月) 午後4時から午後5時5分
- 場所 図書室
- 出席者 諏訪会長、恵羅職務代行、鈴木校長(司会)、渡邊、目黒、中澤、望月、檜枝(記録)
【事務局】
- 資料 資料1 令和4年度第4回学校運営協議会次第
資料2 学校教育に対する保護者の意識調査2018・第4回学習指導基本調査【2007年】
資料3 令和4年度1学期の振り返り
資料4 令和4年度第1回子供と大人の話し合い時間アンケートまとめ
資料5 学校支援本部活動報告

1 会長挨拶

- ベネッセが行っている学校教育に関する調査(資料2)に基づいた情報提供を行った。資料から以下のことが読み取れる。
 - * 保護者の学校に対する総合満足度が上昇していること、教員は長時間労働であること。
 - * 「この1年間に経験したこと」については、PTAの役員(25%)と子どもの安全を守る巡回活動(23%)を除くと、5%以下で極めて低い。
 - * 中学校教員は、学校に居る時間が増え、睡眠時間が短くなっている。
 - * 小学校教員は、学校にクレームを言う保護者が増え、学校に協力的な保護者は減った、と感じている。
- 先日、フィンランド大使館の職員と懇談する機会があった。フィンランドの教員は、勤務時間の4時になれば帰宅するというドライな行動をとる。一方、日本では勤務時間に縛られない献身的な行動をとるので、長時間労働につながっている。
- 委員から以下の指摘があった。フィンランドとの比較において、労働観、文化など他の社会現象とも組み合わせてみる必要がある。

2 校長挨拶

- 副校長がコロナで本日欠席なので、司会は私が行う。
- 会長挨拶に関連して以下の発言があった。
 - * 勤務時間に関して、西田小は幸い大きなトラブルが無いので、6時までに帰る教員が多い。副校長など主だった教員が率先して早く帰ることも、教員が早めに帰ることを後押ししている。
 - * 保護者はだんだんと学校に協力的でなくなってきていると一般的に言われているが、協力的な保護者も多い。PTAが「Pサポ」制度を作ってくれたおかげで、本年度の体力テストでは多くの保護者が協力してくれた。

*これまでの学校文化に染み付いたもの、例えば運動会、を新しいものに作り替えていくことが求められている。コロナの影響で、運動会はこれまでのように時間をかずに実施できたので、染み付いた文化は変えられることが分かった。

- 1学期の振り返りは3で行う。

3 1学期の振り返り

- 資料3に基づいて、「児童の様子」、「教職員の様子」、「学習・行事」について報告があった。

4 子供と大人の話し合い時間について

- 7月9日に行われた「NISHITA 未来の学校」の「子供と大人の話し合い時間」に関する保護者アンケート（資料4）が紹介された。
- 大塚食品とのコラボは、子どもにとってとても良い機会になったと思った。どうすれば子どもの関心を掻き立てられるかを心得ていた。
- 先生の発言「目の見えない方」「耳の聞こえない方」は「不自由な方」との指摘があった。
- SDGsの根底には「やさしさ」がないとダメだと思った。

5 その他

- 半澤委員から、学校支援本部に関する書面報告（資料5）があった。

9月学校運営協議会開催予定

7月26日（月）午後4時00分～午後5時30分

なお、同日2時30分より第14回80周年記念行事実行委員会（地域・保護者の部）開催

以上